

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月5日（金）に那須塩原市三島ホール・公民館において「知ってる？教科書では学べない地域の魅力♡ ～語ろう 知ろう 伝えよう～」をテーマに「那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域教育コーディネーター養成研修」が開催されました。この研修会は、子供の教育を学校だけに委ねるのではなく、地域社会全体で子供たちを育てるために、学校・家庭・地域が、積極的に連携・協働できるように、お互いが共通理解を図り、共通行動がとれるようにすることを目的としています。当日は、那須地区の小・中学校の教職員やPTA役員、地域活動実践者等を中心に、164名の参加をいただきました。

◆寸劇による問題提起◆



寸劇（問題提起）の様子

私たちの住む地域は、素晴らしい魅力であふれていますが、その魅力を、私たち大人はいったいどれくらい理解しているのでしょうか？また、それらを子供たちに積極的に伝えているのでしょうか？これらの現状と課題について、那須地区ふれあい学習推進員が寸劇を通して分かりやすく問題提起をしました。参加者からも「寸劇による問題提起は、効果的だった。」「改めて、地域の魅力や子供たち、そして自分自身について考えるきっかけとなった。」などの声があり、大変好評でした。

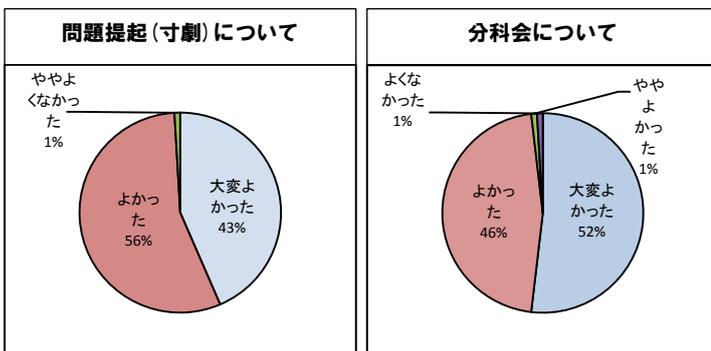
◆分科会での熱心な話し合い◆

問題提起の後に分科会を行い、地域の魅力を子供たちに伝えるためには、地域と学校がどのように連携すればいいのかについて本音で語ってもらいました。また、話し合ったことが、すぐに実践できるように中学校区を基本とした班編成で行いました。皆さん熱心に話し合われ、「同じ地域の関係者による情報交換は有意義であった。」「今後、学校・家庭・地域が一体となって子供たちのために連携・協働を進めていきたい。」などの感想をいただきました。



分科会の様子

アンケート集計結果から



今回、研修会に参加いただいた皆様には、「地域の魅力」をキーワードに、地域と学校の連携・協働について考えていただきました。この研修会でできたネットワークが基となり、地域にある様々な力が結集し、学校の内外を問わず、子供たちの学びを支える仕組みが、地域に定着するきっかけとなれば幸いです。